

# えぐね

※えぐねは、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に杉・栗・桐などの木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林である。杉は建築材に、落葉は燃料や肥料などにも使われた。冬は温かく、夏は涼しく、緑豊かで快適な住環境を形づくるとともに、日本の原風景を代表する豊潤な景観を生み出している。

## 予行練習から皆全力！

### 体育祭本番までもうひと頑張り！

5月12日の体育祭まで、残りわずかとなりました。昨日行われた予行練習では、本番さながらの真剣勝負が随所に見られ、胆沢プライドの一端垣間見ることができました。競技によっては、少し差がついてしまったものもありましたが、組団ごとにおそらくしっかりと対策を練って本番に臨んでくることを考えると、さらに白熱した戦いを見ることができのではないかと大いに期待しているところです。勝敗の行方は、**競技+応援+事前取り組み**の3つの観点の合計で決まってくる。どの組も狙うはおそらく完全優勝でしょう。最後まで最善と全力を尽くし、団結して戦い抜いてほしいと思います。

また、**歴代記録の更新**にも期待がかかります。狙える逸材はたくさんいるようです。コンディションを万全に整えて、是非その名を歴史に刻んでほしいと思います。

#### ☆新記録は以下の通りです。

種目	1年生	2年生	3年生
男子 100m	五嶋真生 13秒66		
女子 100m	関谷光優 14秒53	関谷光優 14秒27	伊藤真由 14秒25
男子 200m		阿部壮大 27秒59	千葉英二 26秒22
女子 800m	鈴木未来 3分05秒63	高橋知広 2分41秒65	佐々木杏子 2分41秒60
男子 1500m	石川康平 5分42秒65	小野寺颯太 5分00秒84	高橋重陽 5分05秒62
学級 長縄跳び	青組団 94回	桃組団 161回	赤組団 167回

※令和元年、胆沢中新記録の更新にご期待ください

※見所をいくつか紹介します。



☆部ごとに行うプライドトレーニングは必見です。



☆練習の成果とチームワークが問われる学年種目にも是非注目してください。



☆全員が走る徒競走。予行でも全力を尽くす姿がたくさん見られました。



☆学級対抗と選抜リレーも盛り上がり必至です。バトンの工夫次第で、予行とは違う結果もあり得ます。



☆最後まで笑顔と元気が満ちあふれる胆沢プライド体育祭となること間違いなし！と思います。

## GW中も大活躍でした

9連休中も、胆沢中生の大活躍がありました。私は、女子バレー部の県春季大会の準決勝を応援する機会がありましたが、2セット目、後がない状態から5連続得点し、デューズまで盛り返す粘りを見せてもらいました。惜しくも決勝進出とはなりませんでしたが、今回の敗戦を糧に中総体ではさらなる高みを目指して頑張してほしいと思います。



※春休み中のものと併せて紹介しました。

## 体育祭があるのは日本の学校だけ？

運動会や体育祭のようなものは、実はアメリカをはじめとする海外にはありません。運動会が始まったのは明治時代で、これは体を動かす体育的な活動というよりも、軍事面において組織力を統率することを目的に生まれたものなのです。実際のところ、昔の運動会では防空壕を想定した障害物競走や、敵陣占領といった種目があったそうです。

あるアメリカ人が日本の体育祭を見て、「日本の運動会って、次々にいろんな種目がおこなわれるじゃない。それがすごく早いし、みんな機能的に動いていてビックリした。1つの競技が終わると、先生たちは運動場に走って行ってコーンを並べたり次の種目の準備をしたりする。その間に生徒たちは入場する位置まで移動する。みんな自分のすることが分かっている。だから、素早く動いてすぐに次の種目を始めることができる。アメリカではあり得ない。」とびっくりしていたそうです。体育祭は、ある意味日本人の実直且つ勤勉な国民性があるからこそ、実現できる行事なのかもしれませんね。

ところで、**体育祭の勝敗を左右する要素に事前の取り組み点がある**ことは前述したとおりですが、是非これを契機に改めて授業に臨む姿勢を問い直してほしいと思います。例えば、わからないことをそのままにはいませんか。わからないことは恥ずかしいことではありません。わかるようになることこそが勉強の醍醐味(本当の面白さ)です。先生に積極的に質問したり、友達どうして教えあったりして、「わかった、できた！」という経験をたくさん積み上げていくことが生きる力につながっていきます。

胆沢中学校では、今後も生徒たちが「わかった、できた、面白い」を実感できる授業の実践に努めて参ります。ご家庭におかれましても、さらなるご理解とご支援をお願いいたします。

## ☆部延長が始まります☆

5月15日(水)より、部延長が可能となることに伴い、本日の昼休みに各部の部長が校長室にて部延長願いの届け出を行いました。①時間を守りつつ、活動の充実を図ること、②勉強(授業と家庭学習)をおろそかにしないことを確認して、延長を許可いたしました。胆沢プライドのさらなる発展を意識しながら頑張っていきましょう。